

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 31 日 (2019.10.31)

【公表番号】特表 2018-531667 (P2018-531667A)

【公表日】平成 30 年 11 月 1 日 (2018.11.1)

【年通号数】公開・登録公報 2018-042

【出願番号】特願 2018-514431 (P2018-514431)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/966 (2013.01)

A 6 1 F 2/07 (2013.01)

【F I】

A 6 1 F 2/966

A 6 1 F 2/07

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 9 月 19 日 (2019.9.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

案内ワイヤ(118)を収容する内部管(106)と、

ある長さを有する補綴体(110)と、

前記内部管(106)上を移動可能な押圧要素(104)とを含み、該押圧要素は前記補綴体(110)の近位部を収容するくぼみ(104A)を有する人工血管送出装置であって、該装置は、

前記内部管上を移動可能であり前記補綴体(110)の遠位部を収容するくぼみ(152A)を有する先端部材(152)と、

前記内部管(106)および前記押圧要素(104)を覆って配置される送出シース(105)とを含み、

前記押圧要素(104)が移動すると前記先端部材(152)を前記送出シース(105)に当接する第 1 の位置から前記送出シース(105)の遠位にあり該送出シース(105)から間隙を空けた第 2 の位置に動かすように構成され、前記間隙は前記補綴体(110)の長さより短く、前記間隙を越えて前記補綴体(110)を前進できるように構成されていることを特徴とする人工血管送出装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の人工血管送出装置において、前記押圧要素(104)および前記先端部材(152)はそれぞれ前記内部管(106)を収容する内部通路を有する人工血管送出装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の人工血管送出装置において、前記先端部材(152)は前記内部管(106)上を移動可能であり、これによって前記先端部材の少なくとも一部分は前記内部管(106)を越えて遠位に位置する人工血管送出装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の人工血管送出装置において、前記内部管(106)は、前記先端部材の位置変化を制限する寸法に形成された拡張ストッパ(154)を有する人工血管送出装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の人工血管送出装置において、前記拡張ストッパ(154)は前記内部管(106)の遠位端部に形成されている人工血管送出装置。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の人工血管送出装置において、前記先端部材(152)は前記内部管を収容する通路を有し、前記通路は遠位大径部(152B)と近位小径部(152C)を有し、前記拡張ストッパは前記遠位大径部よりも小さく、前記近位小径部よりも大きい人工血管送出装置。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の人工血管送出装置において、該装置はさらに、前記押圧要素(104)と連結され該押圧要素(104)を前記内部管上で動かすことができる押圧ロッド(108)を含む人工血管送出装置。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の人工血管送出装置において、前記押圧要素(104)は前記押圧ロッド(108)を収容する溝路を有する人工血管送出装置。

【請求項 9】

請求項 1 に記載の人工血管送出装置において、前記先端部材(152)は、送出シース(105)の内部通路内に収まる寸法に形成された近位縮小径部(102A)と、前記送出シース(105)の内部通路よりも大きな遠位拡大径部遠位拡張径部(102B)とを有する含む人工血管送出装置。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の人工血管送出装置において、前記先端部材(152)の前記近位縮小径部(102A)は、前記補綴体の遠位部を収容するくぼみ(152A)を有する人工血管送出装置。

【請求項 11】

請求項 9 に記載の人工血管送出装置において、前記補綴体は、前記押圧要素のくぼみ内に収まる近位及び拡張遠位バルブ(112)を有する人工血管送出装置。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の人工血管送出装置において、前記補綴体の拡張バルブ(112)は、端部キャップ(112)によって連結されるワイヤ対(111)を含む人工血管送出装置。

【請求項 13】

請求項 12 に記載の人工血管送出装置において、前記押圧要素(104)のくぼみ(104A)は、前記端部キャップを収容する寸法に形成された拡張部と、前記ワイヤを収容する寸法に形成された縮小部とを含む人工血管送出装置。

【請求項 14】

案内ワイヤ(118)を収容する内部管(106)と、

近位及び遠位の拡張バルブ(112)を有し前記内部管を円周方向に取り囲んで配置される補綴体(110)と、

前記内部管上を移動可能であり前記補綴体の近位拡張バルブを収容する寸法に形成されたくぼみ(104A)を有する押圧要素(104)と、

前記内部管(106)および前記押圧要素(104)を覆って配置される送出シース(105)とを含む人工血管送出システムであって、該システムは、

前記内部管(106)上を移動可能であり、前記補綴体の遠位拡張バルブを収容する大きさである寸法に形成されたくぼみ(152A)を有する先端部材(152)を含み、

該先端部材(152)は、前記シースに対して遠位に摺動可能であり、前記補綴体の長さよりも短いシースに対する間隙を形成し、

前記押圧要素(104)を遠位に動かすと、前記間隙を越えて前記補綴体(110)を前進させることを特徴とする人工血管送出システム。

【請求項 15】

送出シース(105)と、

前記送出シース(105)の遠位部内に予め装着され、近位及び遠位の拡張バルブ(112)を有する補綴体(110)と、

前記補綴体(110)に覆われ、ガイドワイヤを収容する内部管(106)と、

前記内部管(106)上を移動可能であり、前記補綴体(110)の遠位バルブ(112)に連結された押圧要素(104)とを含み、

前記送出シース(105)は、前記内部管および前記押圧要素を覆って配置される人工血管キットであって、該キットは、

前記押圧要素(104)に対して利用者が行った動作を介して、前記内部管(106)上を前記シースに当接する第1の位置から前記送出シース(105)の遠位にあり該送出シース(105)から離隔した第2の位置に移動可能な先端部材(152)を含み、該先端部材は前記補綴体(110)の遠位バルブと連結されていることを特徴とする人工血管キット。